

Eエリアフランジ型タンク D1タンク内スラッジの回収状況について

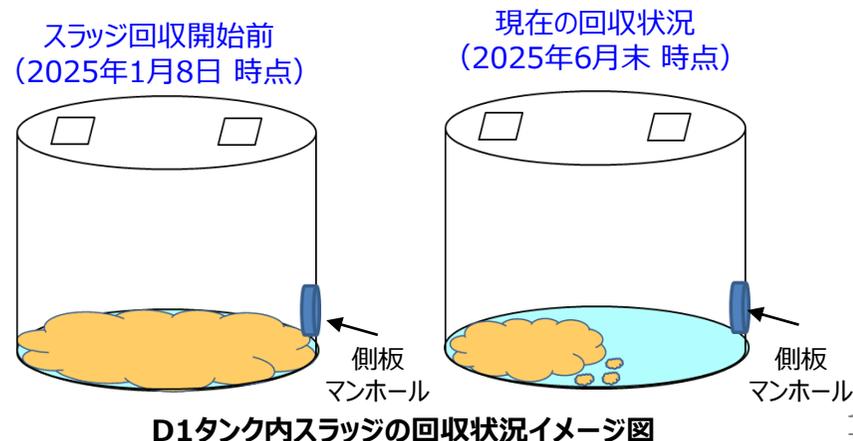
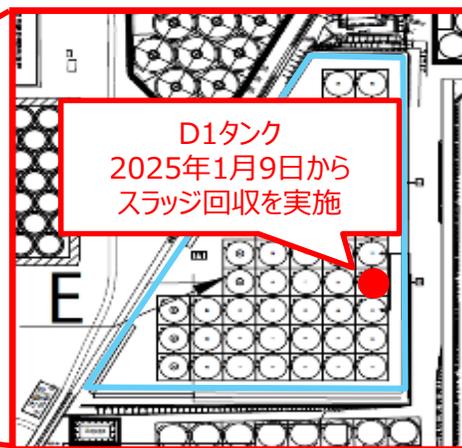
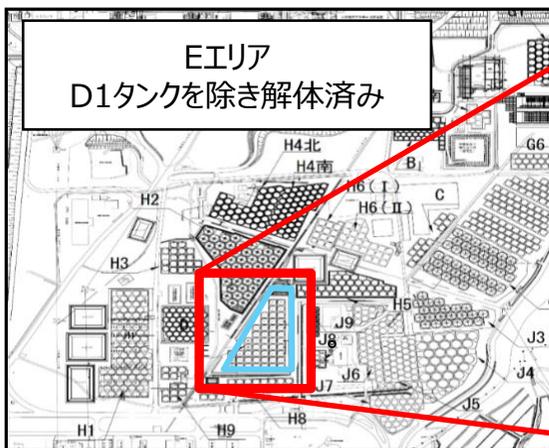
2025年7月3日

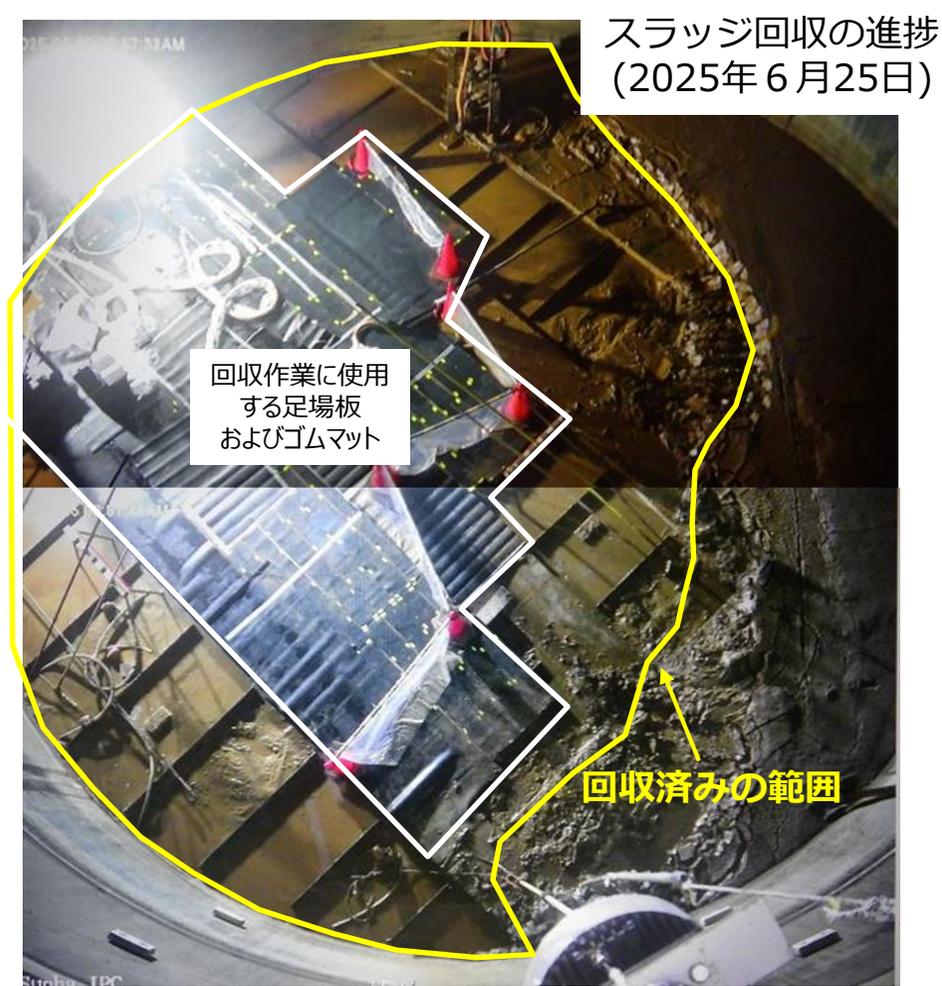
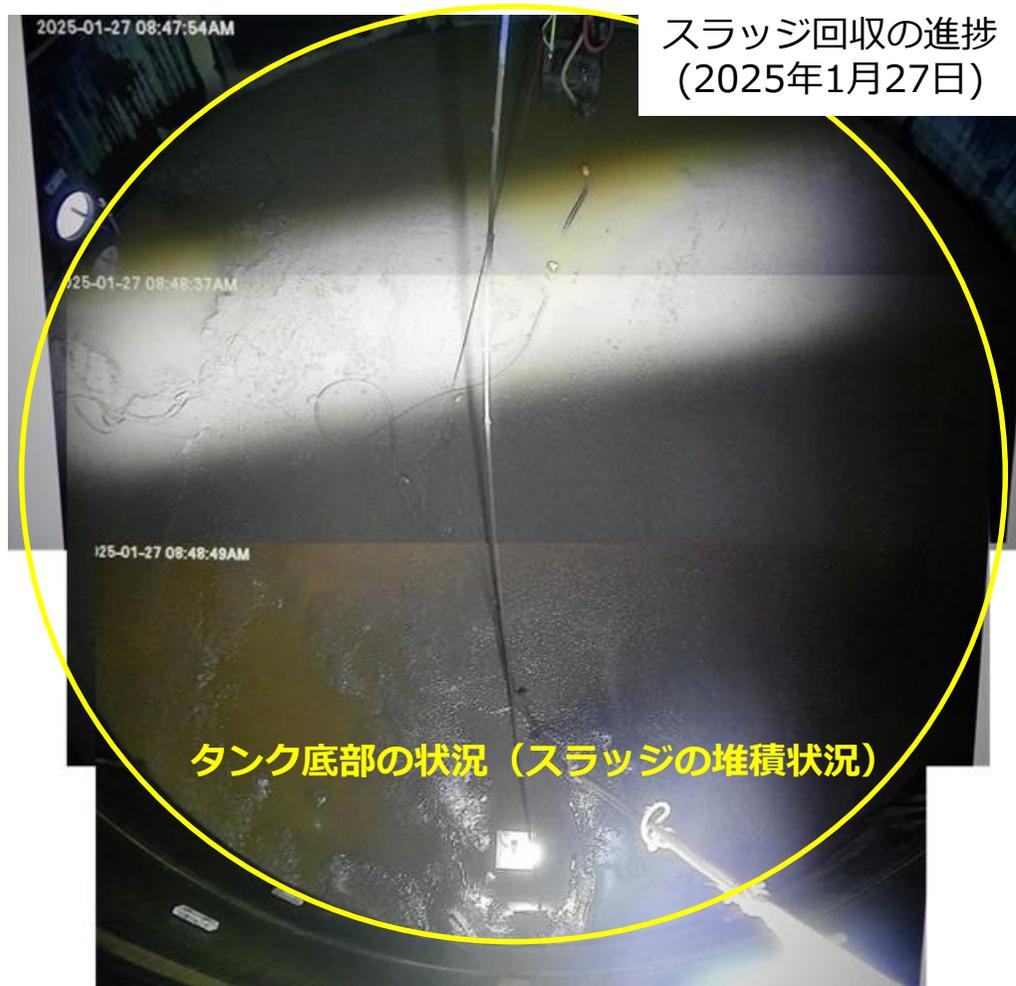
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- Eエリアではフランジ型タンクの解体を進めており、2024年7月までに全49基中48基の解体が完了（D1タンクのみ未解体）。
- D1タンクは、2025年1月のスラッジ回収開始以降、放射性物質の拡散防止対策、身体汚染防止対策を強化し、慎重に回収している。
- スラッジの回収が進むにつれ、より広範囲のスラッジが流動しにくい状態であることを確認した。モックアップにおいて、スラッジの粘性が高く、流動しにくい状態である場合を想定した訓練を実施していたが、スラッジを流動しやすい状態にして回収する作業に時間を要していることから、スラッジ回収完了時期を、2025年4月から6月へ変更する。 <2025年4月21日までにお知らせ済み>

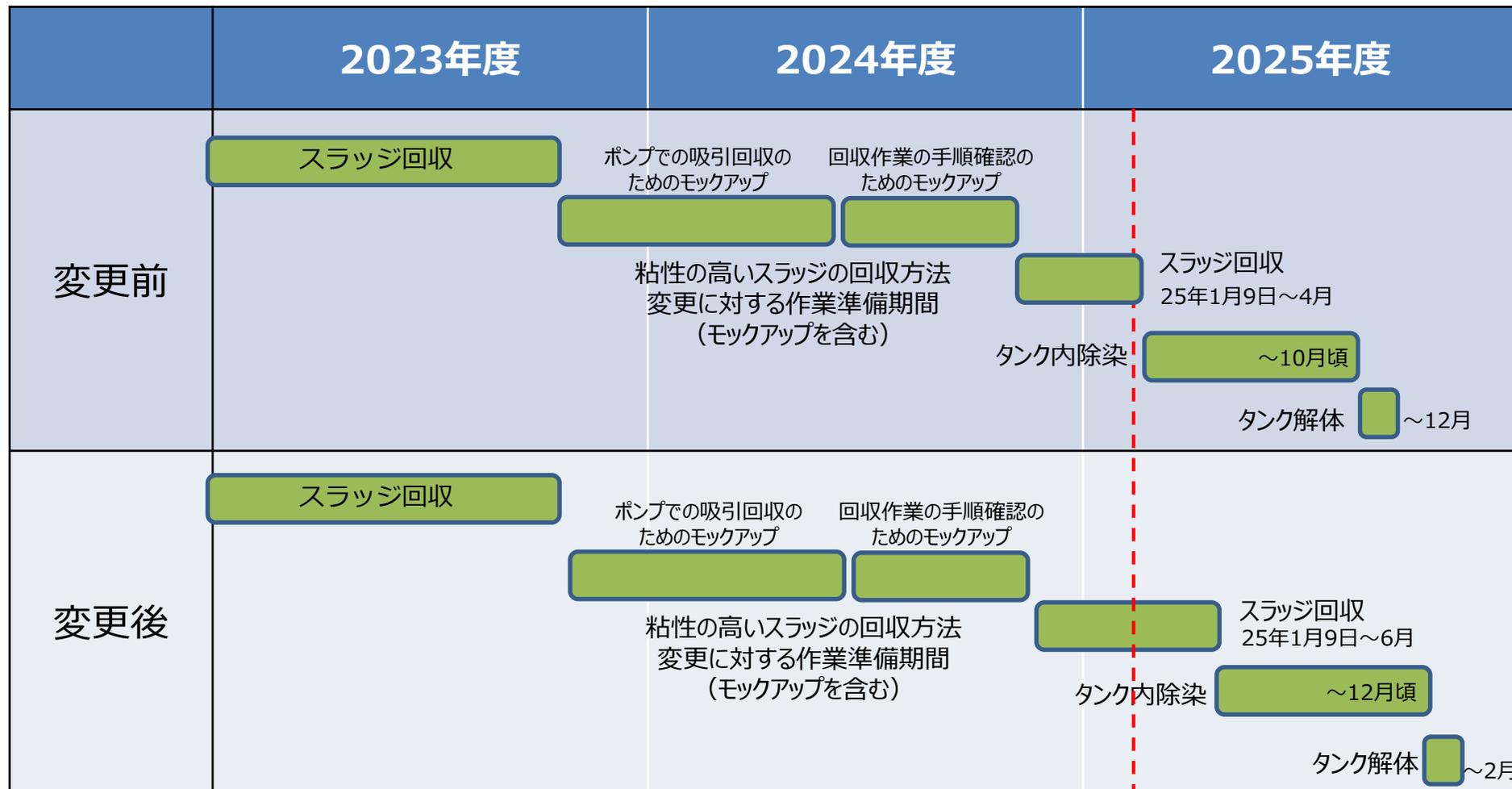
- タンク内に堆積したスラッジ量は約40m³と想定。1月から4月末までに約21m³（累計：約21m³）、5月に約8m³（累計：約29m³）、6月は約4m³*（累計：約33m³）の回収を実施。
※気温上昇に伴い、作業可能な日数が少ないため、回収量が減少
- 粘性が高いスラッジも、モックアップで訓練した通りの手順で回収できており、着実に作業は進捗している。一方、気温上昇に伴い、熱中症対策の観点から、作業可能な日が少なく、回収量が減少している状況。
- よって、7月以降も回収作業を継続する。放射性物質の拡散防止対策や身体汚染防止対策を行い、慎重に作業を継続するが、今後も気温が高く、熱中症対策の観点から作業ができない日が増えることが想定される。よって、今後は進捗があった時点でお知らせさせていただく。
- 引き続き、慎重かつ安全最優先で作業を進めてまいります。





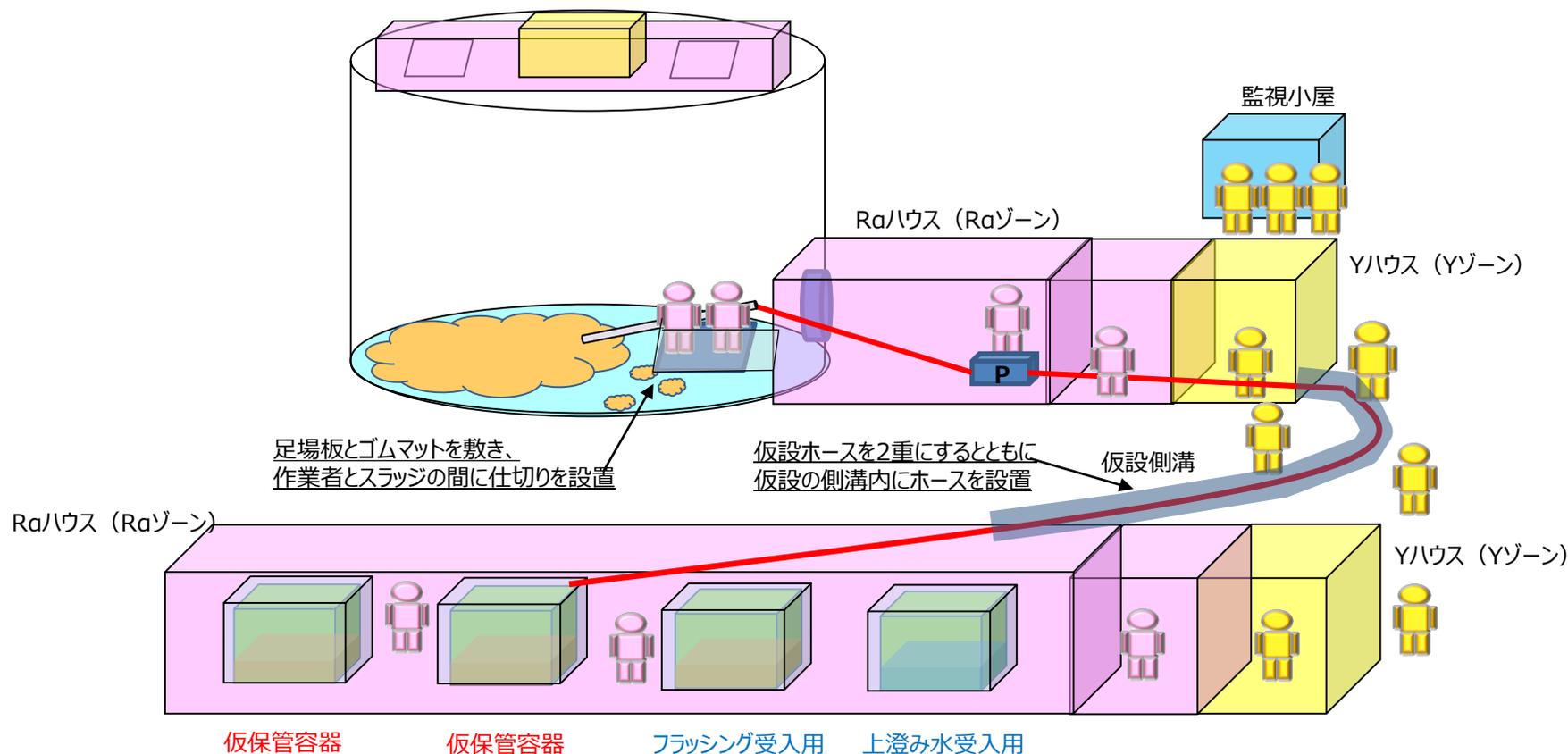
- 当初は左の写真の通り、タンク全面にスラッジが堆積している状況。
- 現在は、右の写真の通り、回収が済んだ箇所に足場板とゴムマットおよび仕切り板を設置し、転倒防止および被ばくを低減する対策を行い、計画していた手順通りタンク内で回収作業を実施中。
- タンク底部全面にスラッジが堆積していたが、現在は半面以上タンク底部が確認できる状況まで進捗。

- これまでの作業実績を踏まえ、工程を再精査し、スラッジ回収完了時期を2025年4月から2025年6月へ変更いたします。
- スラッジ回収完了時期の変更に伴い、タンク解体完了時期も2025年12月から2026年2月へ変更いたします。



[参考] スラッジ回収時の安全対策

- タンクから仮保管容器へスラッジを移送する際は、仮設ホースを2重にするとともに、仮設の側溝内にホースを設置し、漏えいを防止。
- タンク内に入って回収を行う場合は、足場板とゴムマットを敷き、その上で作業を実施し、転倒防止および被ばくを低減。また、作業者とスラッジの間に仕切り等を設置し、スラッジが直接作業員に付着することを抑制。
- スラッジ回収作業について万全を期すため、作業訓練を構外で実施済み。訓練実施者のみ作業に従事。



タンク内におけるスラッジ回収